

【平成24年度 北海道旭川東高等学校 学校評議員会の報告】

○第3回学校評議員会

期 日：平成25年3月18日（月） 18：30～

会 場：北海道旭川東高等学校校長室

〈校長からの説明：「管理職の反省と改善方策」について〉

- (1) 学校経営・・・学校教育目標等、校務分掌等、校内研修等、職場環境等の5つの観点から説明。
- (2) 教育活動・・・教育課程の編成、教科指導、生徒指導、進路指導、健康安全、特色ある教育活動の項目についてそれぞれ説明。
- (3) その他・・・教育環境、開かれた学校づくり、大規模改修、協賛会について説明。

〈教頭から主な改善方策について説明〉

(1) 学校運営

- ・創立110周年を契機に校訓や学校教育目標等について、再度の検証を行っていく。
- ・部長主任の連携を更に有機的なものとし、改善に向けて精力的な意見交換が行われる場をより多く設定する。
- ・各課題に向け、その解決時期を短・中・長期に区分するなど、計画性を持って改善にあたるとともに、その成果が明確に認識出来るような取り組みを実践する。

(2) 教育課程・学習指導

- ・新教育課程の編成に伴い、新学習指導要領実施に係る検証を行う。
- ・各教科において効果的な授業方法を研究し、全体の共有化を図る。
- ・指導と評価の一体化を目指し、授業改善について研修や議論を一層深める。
- ・「総合的な学習の時間」を活用し、生徒の思考力・判断力・表現力を様々な角度から伸長できる系統的学習内容の充実を図る。

(3) 生徒指導

- ・いじめに係る継続指導の中で、生徒自らに考えさせる時間を設定し、いじめのない環境維持に効果を挙げている。今後も様々な問題に対して、生徒が主体的に考え行動に移せる環境整備に努める。
- ・生活のリズムの確立、マナー・モラルの向上に向けた全校指導体制の更なる充実方策を検討する。
- ・自転車事故の未然防止に向け、今後は保護者と連携した街頭指導等も検討していく。

(4) 進路指導

- ・生徒の進路に合わせ、3年間を見通した組織・系統的指導体制を構築する。
- ・個に応じた情報提供が出来るよう資料の整理に努めるとともに、大学や関係機関との連携強化の中で、興味関心を引き出す工夫を図る。
- ・更なる進路意識の向上に向け、同窓会との連携を視野に入れた組織作りを検討するなど、キャリア教育の一層の推進に努める。
- ・保護者向けの進路情報伝達システムを検討する。

(5) 健康安全・教育環境

- ・心身の健康不安を抱える生徒が長期化傾向にあり、より効果的な対応に資する記録方法を検討する。
- ・生徒や保護者に対して、スクールカウンセラー事業についての理解を深めてもらう。
- ・校舎内及び同窓会館などの各施設を活用し、生徒の自主的な学習ルールの確保と効果的な利用法を検討する。

(6) 地域との連携

- ・広報やHPをより一層充実させ、教育目標や教育実践を広く発信することで、地域に根ざした本校の教育的意義を深く理解してもらう。
- ・実際の高校生からのメッセージを検討する。
- ・PTAや同窓会との合同事業を増やし、学校と保護者、本校関係者との連携強化を図る中で、生徒の視野をより一層広げる教育活動を検討する。

〈次年度に向けて検討〉

- 1 学校経営 → 向こう10年の目指す学校の構築に向けた「将来構想委員会(仮)」の設置を検討する。
- 2 教育活動 → 同窓会等の学校関係団体による教育支援システム構築に向けて検討する。
- 3 教育環境 → 各施設の有効活用に向けた総括的な検討を行う。
- 4 創立110周年 → 各種事業の推進と広報活動を促進する。

大変お忙しい中、年間3回にわたる学校評議員会にご出席いただき、誠に有り難うございました。大きな成果も数多くありましたが、同時に新たな課題も見つかりました。

学校評議員の皆様からいただいた貴重なご意見やご要望を、今後の学校運営に反映すべく、職員一同全力を尽くしますので、今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。